

ほほえん de 北播磨

2016 October

平成28年10月

第10号

あいさつ



北播磨総合医療センター

副院長兼循環器内科総括部長 栗野 孝次郎

今年の夏はかつてないほどの猛暑でした。夏の疲れが出てくる時期かと思われれますので、体調管理にはお気をつけください。

また今年のリオデジャネイロオリンピックでは日本人の活躍で大いに盛り上がりました。皆が目標をもつて一つにまとまると大いに力が発揮されることを経験しました。

北播磨総合医療センターはこの10月で開院3周年を迎え、順調に発展してきました。医師数は当初の80数名から130名を超えるまでになり、臨床研修医の数も年ごとに増加してきています。初期に一部開設できなかった病棟も今はフルオープンし、この10月からは脳

卒中ケアユニットの体制がさらに充実します。入院される患者さんや外来患者さんの数も経時的に増加傾向を示し、「マグネットホスピタル」の基本理念は着実に達成の方向に向かっていくように思います。

過去をふりかえってみますと、三木、小野市民病院時代には新医師臨床研修制度の影響で医師不足となり、診療科の縮小が相次ぎ、病院経営が危機に陥っていました。そのような困難のなか、経営改善と医療機能の充実を図るため三木市と小野市が話し合いを行い、大英断をもって統合が実現しました。その過程には多くの困難があったと思いますが、皆が目標をもって心を一つにすることで成し遂げられたと思います。

最近は今までに経験したことのないような地震、台風等の自然災害が日本各地で発生しています。そのような「想定外」や「予期できなかった」災害がいつこの地域で発生するかわかりません。病院としてもそのような「想定外の」事態にも対処していくことが求められています。困難な時こそ病院



発行／北播磨総合医療センター
広報委員会（事務局：地域医療連携室内）
兵庫県小野市市場町 926-250
電話 0794-88-8800(代表)
FAX 0794-62-9931
ホームページ <http://www.kitahari-mc.jp/>

副院長あいさつ	・・・1
ドクターのリレー講座	・・・2
認定看護師リレー紹介	・・・4
チーム・委員会の紹介	・・・5
病院探検ツアー	・・・6
新たな認定看護師の紹介	・・・8
大きくな～れ、病院フェスタ	・・・9
外来診療日程	・・・10
新任医師紹介 他	・・・12

スタッフ一同心をあわせてがんばっていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

～ドクターのリレー講座～

『泌尿器科の紹介』

先端医療センター長（ロボット手術部門）

泌尿器科部長 田中 一 志



泌尿器科とは、後腹膜臓器（胃や腸、子宮、卵巣などを包んだ腹膜という膜の後ろにある臓器、すなわち副腎や腎臓、尿管、膀胱、尿道などの尿の通り道）及び男性生殖器（前立腺、陰茎、精巣など）を対象とする診療科です。

泌尿器科の扱う病気としては、尿路（腎、尿管、膀胱、尿道）や男性生殖器のがん、副腎腫瘍、前立腺肥大症などの良性腫瘍、結石、男性のED（勃起機能不全）、尿失禁や夜間頻尿などの排尿障害、腎盂腎炎や前立腺炎や尿道炎などの感染症、等々です。

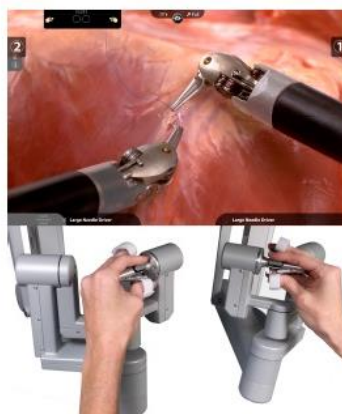
北播磨総合医療センター泌尿器科の特徴として、北播磨地域で唯一複数の泌尿器科常勤医がいる病院であり、また手術支援ロボット（da Vinci）や腹腔鏡システム、医療用レーザー装置、尿路内視鏡など、最先端の医療設備が整っていることです。その為、同地域で唯一、ロボット手術など泌尿器科の先進的な手術療法、複数の診療科と連携した拡大手術や薬物療法（抗がん剤等）などが行える病院となっています。今回はその中で、ロボット手術について紹

介します。

ロボット手術とは手術支援ロボットであるダヴィンチ（da Vinci）を用いた腹腔鏡手術です。ダヴィンチはアメリカで開発され、1999年から2000年に欧米で医療機器としての使用が認可されました。日本では2009年より医療機器として認可を受け、2012年4月より、前立腺癌に対する手術に保険医療として認められました。当院には2015年3月に導入されました。現在兵庫県内でロボットが導入されている病院（13施設）の中では最北に位置しています。

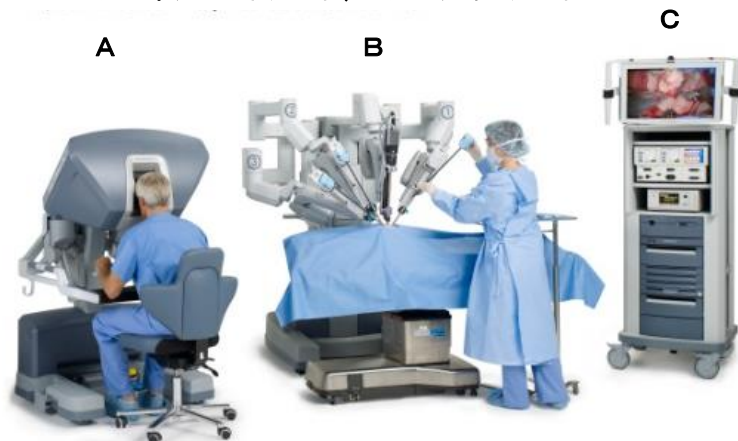
ロボットといっても、自発的な操作をするわけではありません。術者がダヴィンチを介して手術することにより、より鮮明な画像でより緻密な手術ができる特徴を有しています（図1）。ダヴィンチは、サージョンコンソールと呼ばれる操作部（図2のA）とペイシェントカートと呼ばれる腹腔内観察用3Dカメラと手術用鉗子の装置一式（図2のB）、助手と看護師のためのモニターとコンピュータ制御システムが収

図1：ダヴィンチの術野映像と術者の操作部



納されたビジョンカート（図2のC）の3つの部分から構成されます。

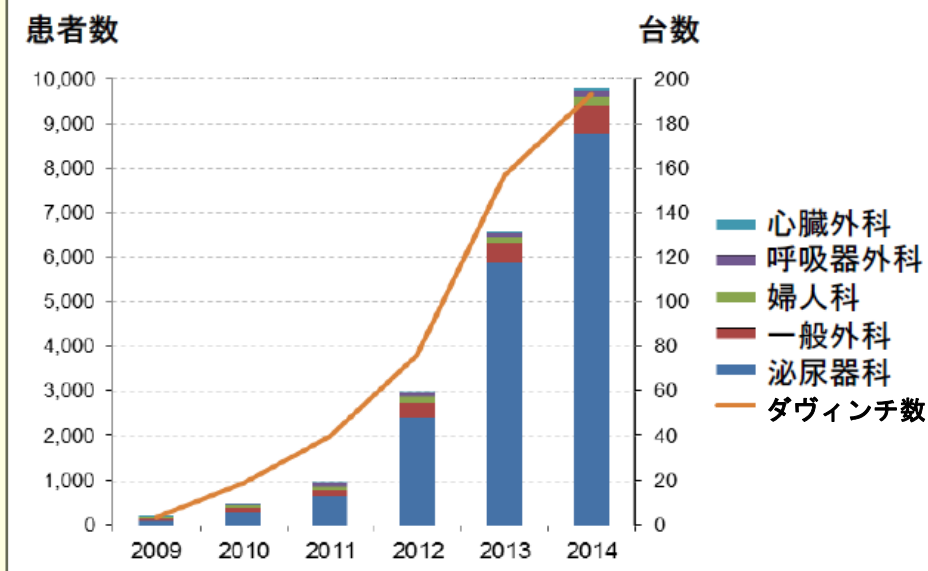
図2：手術支援ロボットダヴィンチ Aがサージョンコンソール、Bがペイシェントカート、Cがビジョンカート



前立腺癌手術では、腹部に6か所の穴をあけ、そこから3Dカメラと手術用鉗子を挿入し、サージョンコンソールに座った術者が3D画像を見ながら手術をすることになります。米国では前立腺癌に対する手術では2008年末に80%以上（2012年末には90%以上）がダヴィンチを用いて行われています。ここまで普及した理由は、ダヴィンチによるロボット手術は出血量を極端に抑え、術後の疼痛を軽減し、機能温存の向上や合併症リスクを大幅に回避できるなど、さまざまなメリットが評価されているからです。我が国においても飛躍的に増加しております（図3）。

また、2016年4月から腎癌に対する腎部分切除術が前立腺摘除術に次いでロボット手術の保険適応になりました。腎腫瘍の

図3：日本におけるダヴィンチの台数（折れ線グラフ）と患者数（棒グラフ、一番下段が泌尿器科で患者数の大部分を占める）

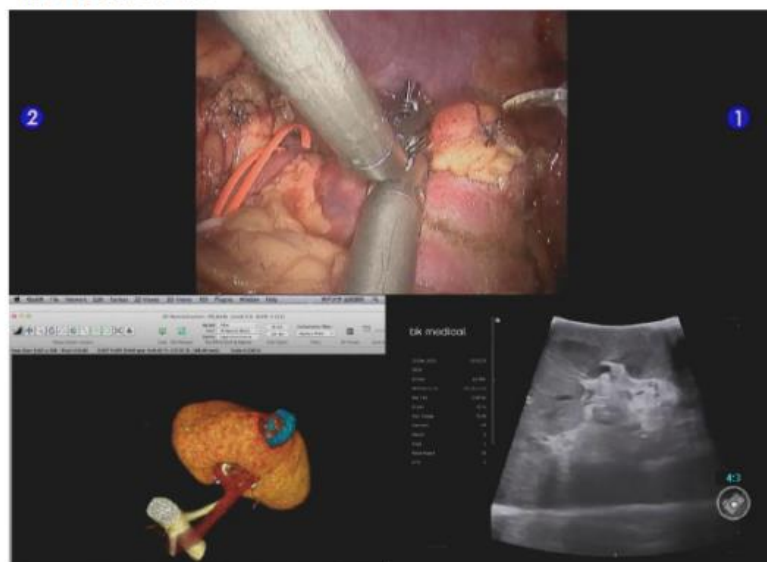


的難易度の高い腫瘍に対しては、ダヴィンチを用いる事で低侵襲での腎部分切除術が可能となりました。さらにダヴィンチでは術者のモニターに内視鏡の術野だけでなく、3D画像や術中超音波画像なども映し出す事ができます（図4）。このため、術者は、より正確に切除範囲を確認しながら手術を行う事が可能です。当院では2015年3月に1例目のロボット支援根治的前立腺摘除術を行ってから2016年9月15日現在で62名の患者さんにロボット支援根治的前立腺摘除術を受けていただきました。現在まで重篤な合併症はなく、また手術成績も良好です。10月からはロボット支援腎部分切除術も開始する予定です。

今後北播磨地域の方々に体への負担の少ない先進的な医療を提供できるよう取り組んで参ります。

また、現在外来受診される患者さんが多くなり、比較的長時間お待ちいただくことが多く、患者さんおよび地域の方々にはご迷惑おかけしております。地域の医療機関と連携しながら紹介等で少しでも円滑な外来診療ができるよう取り組んで参りますので、ご理解いただければと存じます。

図4：術者モニター。内視鏡の術野と3D画像と超音波画像が同時に確認できる。



～認定看護師の活動リレー紹介～

集中ケア認定看護師の巻

HCU 病棟

副課長 都 弓 恵



認定看護師とは

日本看護協会が策定した資格認定制度の資格の一つ。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師のことを指す。高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的としている。

「集中ケア認定看護師」の役割を紹介します！

当院には集中治療室（ICU）Intensive Care Unit）と準集中治療室（HCU: High Care Unit）があります。

ICU・HCUに入室される患者さんは、一般病棟とは違い、呼吸・循環・代謝など生命を維持していく上で重要な機能が、疾病や手術の影響により一時的に不安定となっています。そのため、24時間、生体情報モニターや生命維持装置を装着しています。そして、看護師は、患者さんが重篤な状態に陥ることを回避すると共に、患者さんを生活者として捉え、社会復帰に向けた支援を行います。

また、人工呼吸器を装着されている患者さんは声を発することができないため、自分の思いや辛さを言葉で表現することができません。患者さんが体験してい

る状況を理解し、思いをくみった看護を行います。

さらに、患者さんのご家族は、こうした患者さんの状態に不安や緊張を感じられているため丁寧に説明をしながら、ご家族の思いにも寄り添った看護が必要です。

集中ケア認定看護師は、こういった患者さんやご家族の状況を理解し、担当看護師と共に、看護実践を行い、患者さんの早期回復を目指します。そして、要望や必要にに応じて看護スタッフに指導や助言を行います。

また、病院内で人工呼



吸器や酸素を使用している患者さんに対し、多職種チームの一員として2回/週の回診を行っています。回診を行うことで、人工呼吸器や酸素療法が安全かつ適正に使用できているかを確認すると共に、少しでも患者さんが楽に呼吸ができ、一日も早く人工呼吸器や酸素がはずれるための援助を行います。



▲集中治療室（ICU）の様子

～チーム・委員会紹介～

「感染対策委員会」の活動を紹介します！

病院は、本来最も衛生的な場所ですが、感染症の患者さんと感染症にかかりやすい患者さんが同時に存在します。

また、極めて汚染されやすく、患者さん側の抵抗力や環境、病原体など様々な要因が影響し全ての患者さんが感染症を保持しかつ罹患する危険性を併せ持つと考えられます。

病院関連感染の防止に留意し、感染などの発生の際にはその原因の速やかな特定、制圧、終息を図ることが重要です。



北播磨総合医療センターでは、上記のことを踏まえ感染対策委員会を設置しています。

委員会の構成は、病院長、診療部の代表、看護部の代表、中央検査室の管理者、薬剤室の管理者、中央放射線室の代表、栄養管理室の代表、リハビリ室の代表、管理部の代表、その他、病院長が必要と考える職員にて構成されています。

活動としては、感染対策に関する意思決定機関として毎月1回の会議を行い、感染対策に関する事項を検討しています。

また、感染対策に関する情報収集と職員への周知、年2回の感染管理研修会を全職員の必須研修として開催しています。

感染対策委員会の下部組織として、感染対策チーム（ICT：Infection control team）も設置しています。



構成メンバーは、感染対策委員会の一部のメンバーをコアメンバーとし、各部署より1名ずつ感染対策リンクスタッフとして参画しています。

毎週1回、病院の中を巡回し、現場の感染対策に問題がないかチェックをするのがコアメンバーの役割で、ゴミの捨て方一つにも注意を払います。各部署の感染対策リンクスタッフは、委員会での決定事項などの周知や職員一人一人の手洗い方法が正しく行われているのかなど、実際の現場での感染対策に問題はないのかを見ています。

こうして職員が一丸となり、患者様に安心・安全の治療が提供できるよう努力しています。

感染管理研修会の様子



ICTリンクスタッフ会のメンバー



★病院探検ツアー

【7階東病棟を紹介します】



～患者さんやご家族の思いに添った
看護の実践に取り組んでいます～

7階東病棟は、消化器内科・外科の混合病棟です。主に消化器系の検査・手術・化学療法などの治療を目的とした患者さんが入院されています。

手術や検査後は、点滴やドレーン類などの多くのチューブが挿入されていますが、環境に配慮し、安全に療養できるように努めています。また入院時から、不安なく治療を受けていただけるように、多職種を交えたカンファレンスを実施し、情報共有しながら、患者さんやご家族の思いに添った看護が実践できるように所属一丸となって取り組んでいます。

主な取り組みを紹介します！

《外科カンファレンス》



医師・看護師・リハビリ療法士・ソーシャルワーカーとの多職種カンファレンスを週2回実施し、手術前・後の患者さんの情報を共有しています。

医師・リハビリ療法士と共にカンファレンスで検討し、手術後、早期離床ができるように努めています。



《リハビリカンファレンス》

《継続看護カンファレンス》



退院を見据えて、地域医療連携室と調整し、早期退院を目指しています。

《消化器カンファレンス》



医師・看護師が治療方針・経過について情報共有し、同じ目標をもち取り組んでいます。

《外科回診》

医師・看護師・薬剤師・感染認定看護師で毎日回診を行っています。創部・痛みの状態を観察し感染防止に努め、早期治癒を目指しています。



《消化器内科総回診》



消化器内科佐貫部長による回診を週 1 回行っています。患者さんは診察とともに治療経過についてゆっくりと説明を受け、和やかな雰囲気となっています。

《化学療法》

安全に投与できるように、細心の注意を払い準備をしています。



《ストーマ管理》

大腸疾患で入院され、ストーマ（人工肛門）の造設を余儀なくされる患者さんに対して、術前には看護師がストーマサイトマーキングを実施しています。患者さんが管理しやすい最も適した位置にストーマを造設し、術後の合併症を予防する目的があります。また、患者さんがストーマについてイメージすることができ、術後にスムーズに受け入れられるように行う大切なケアです。スタッフが統一したケアが提供できるように毎年勉強会を開催し取り組んでいます。

《新人看護師》

共に学び成長しています。



前列：新人看護師
後列：プリセプター（新人看護師の教育・指導係）

《看護補助員》



安全に、安心して過ごして頂けるよう環境整備に力を入れています。

このたび当院で新たに2人の認定看護師が誕生しましたので ご紹介いたします！

新たな認定看護師

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師とは、脳卒中患者さんやご家族に対して、多職種のスタッフと連携をとりながら日常生活に必要なリハビリテーションを支援することを専門的に学んだ看護師です。

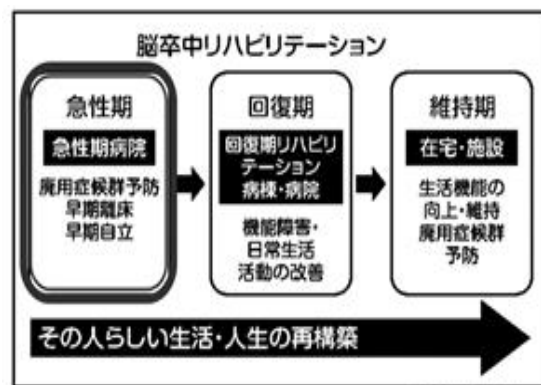
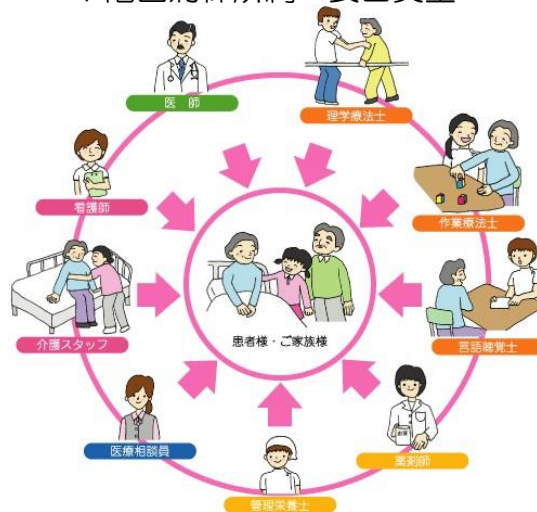
脳卒中は命に関わることもある重大な病気です。また、厚生労働省による「寝たきり要因」第1位になっており、麻痺などの障害が残ることが多いです。

入院早期から患者さんやご家族の思いに沿いながら、一人ひとりに合った看護を行うことで自分自身でできる事がより多くなるように、入院生活全てをリハビリテーションの機会となるように支援していきたいと考えています。

また、脳卒中の治療やリハビリテーションに終わりはなく、再発予防や家族支援など住み慣れた地域で少しでも早く元の生活に戻れるように継続した支援が必要となります。

退院後も継続して患者さんやご家族の納得できる支援が受けられるように、脳卒中地域連携パスを活用し、転院後や生活をされる地域へと情報共有を行っていきます。

7階西病棟所属 長田美里



脳卒中看護協会HPより

感染管理認定看護師

感染管理認定看護師の活動について

I C U病棟 松本千明



感染は①病原微生物の存在【感染源】②微生物が生体内に侵入するための道【侵入経路】③感染のしやすさ【感受性宿主】が揃った時に成立しますので、このうちどれか1つを取り除くことが感染の予防には必要です。



感染管理認定看護師は患者さんが安心して療養生活が送れるように、感染対策を実践・指導し、相談を受ける役割があります。そして、感染管理の対象は患者さんだけではなく、病院に来られるご家族や面会の方、病院で働く医療従事者、施設、環境などです。

私は今年度、感染管理認定看護師の資格を取得しました。学んだ知識を活かしながら、病院の中をラウンドし、感染が拡大しないよう環境づくりに努めています。



様々な疑問や不安を少しでも取り除き、皆さまが安心できる病院を目指すため、院内感染予防対策を推進していきたいと考えています。

★★★ 大きくな～れ ★★★

～皆さんは北播磨総合医療センター第1号の
赤ちゃんを覚えていらっしゃいますか？～



女性病棟



第1号の赤ちゃんが誕生した時の写真

当院で無事に第1号の出産を迎えられた安堵と喜びで、胸が熱くなったことを今でも昨日のこのように思い出します。あれから、2年半の歳月を経て2016年9月14日にその時のお母様が当院で出産をされました。第3子となる3380グラムの元気な男児でした。

「男の子だけど、優しい子どもに育てて欲しいです。」というお母様は、とてもお幸せそうでした。第1号の赤ちゃんは、今やわんぱくざかりの2歳の男の子にたくましく成長されていました。現在リピーターの方々がどんどん出産をされています。当院で生まれた子ども達が成長された姿を見ることができるのは、私たちの大きな喜びです。

「また、次のお産も是非ここで」と選んでいただける病棟になるよう、これからもスタッフ一同頑張っていきます。



☆☆☆☆☆☆☆☆ 北播磨総合医療センター ☆☆☆☆☆☆☆☆

病院フェスタ 開催のお知らせ

と き：平成28年10月23日（日）10:00～14:00

ところ：北播磨総合医療センター（1階玄関・外来ホール）

今年も皆さんに楽しんでいただける催しを用意してお待ちしています！

ステージ・講演

- 10:00 オープニング
- 10:30 鼓笛演奏(20分) “みやま保育園” (小野市)
- 11:30 軽音楽演奏(30分) “院内音楽部他”
- 12:40 健康講座(60分)
演題：『予防 ～転ばぬ先の杖～』
講師：宅見 徹 副院長兼小児科総括部長

イベントその② 10:00～14:00

- ★35m級先端屈折式はしご付消防車・救急車の展示
～間近で見るチャンスです～
- ★エアータントの展示
～災害時に活躍するテントを紹介します～
- ★軽食コーナー
～特別メニュー・お菓子詰め放題の提供～

イベントその① 10:00～14:00

- 手術室体験ツアー (最終受付 13:00)
- 院内見学ツアー (最終受付 12:00)
- 救急蘇生体験
- 健康チェック
- 健康相談
- 手洗い体験
- 白衣の試着体験 (13:30 まで)
- キッズファーマシー (子ども薬剤師体験)
- キッズコーナー (10:30～13:30 無くなり次第終了)
- ボランティアブース
- 防災啓発
- モニターでの活動紹介



外来診療日程表

※初診の際に必ず予約が必要な診療科

外来受付時間は、初診:午前8時30分～11時30分、
再診:午前8時～11時30分。診察開始時間は午前9時からです。
午後は予約のみの診察となります。

平成28年10月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科、老年内科	午前	高橋	西山	原	横野	門脇	
		高吉 (第1・3・5週)	中川	荒井	安友	大橋	
		荒井 (第2・4週)		川瀬 (第1・3・5週)	大幡 (第1・3・5週)		
				木村 (第2・4週)	高吉 (第2・4週)		
循環器内科	午前	山脇	平石	山脇 (再診のみ)	山田	吉田	初診・再診(予約)
		田頭	中川	中川	田頭	平石	
		栗野 (10時～)		山田	中林 (予約のみ)		
		不整脈センター 外来 (吉田)	大橋	高見	栗野	石井	再診(予約)
				ペースメーカー外来 (第2・4週)			
	午後			ペースメーカー外来 (第2・4週)			予約のみ
				動脈硬化疾患 外来 (第2・4週)			
			スペシャルデバイス 外来(第3週)				
消化器内科	午前	大瀬	田中	佐貫	堀	吉江	初診
		堀	佐貫	田中	吉江	大瀬	再診(予約のみ)
		阿部晶		平野 (肝臓外来)	佐々木	木下	予約のみ
呼吸器内科 木曜日の診察は 予約のみ	午前	新家	松本	金城		堂國	初診・再診
			高月		松本	高月	予約のみ
					新家	金城	
	午後		高月				予約のみ
腎臓内科 完全予約制	午前	石田	北村	岡本	腹膜透析外来	石田 (第1・5週) 西 (第2週) 北村 (第3週) 藤井 (第4週)	予約のみ
	午後				原		
糖尿病・内分泌内科	午前	中川	安友	西山	西山	山田	初診の方の診察は内科・老年 内科にて対応いたします。 受付にてご確認ください。
		原	向田	高吉	勝二	中村	
		安友	荒井				
	午後		川瀬		高橋		予約のみ
			木村				
神経内科 完全予約制	午前	濱口	濱口	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	高田	予約のみ(初診紹介予約)
				小田			予約のみ
	午後	濱口	細見	濱口 (再診のみ)	小田 (再診のみ)	高田 (再診のみ)	予約のみ(初診紹介予約)
		高田 (再診のみ)		小田	担当医	ポトックス外来 神経生理外来	予約のみ
血液腫瘍内科	午前	大幡 (血液)	杉本	今村 (腫瘍)	南 (血液)		月曜日: 予約のみ
	午後	杉本 (血液)	杉本				予約のみ
リウマチ ・膠原病内科	午前		三崎	井上	関節エコー外来	三崎	水・木曜日: 予約のみ
	午後		三崎	井上	関節エコー外来		予約のみ
外科、消化器外科	午前	沢	岩谷	黒田	浦出	黒田	初診・再診
		御井	担当医	阿部(第1・3週) 小濱(第2・4週)	万井	村田	再診
			岡		岡		乳腺(予約のみ)
ストーマ外来	午前	森田	森田	森田 (初診)	森田	森田 (初診)	予約制(担当:皮膚排泄ケア認定看護師)
	午後	ストーマケア相談 (第1週)					電話相談のみ(13:00～16:00)
整形外科 完全予約制	午前	橋本	川上	瀧川		今泉	予約のみ(初診紹介予約)
		川上	今泉	橋本	小田	瀧川	再診(予約のみ)
		寛島		担当医	担当医	担当医	予約のみ
	午後		今泉 (スポーツ外来)		橋本 (脊椎外来)	川上 (スポーツ外来)	予約のみ
呼吸器外科 完全予約制	午前				高田		予約のみ

診療科		月	火	水	木	金	備考	
心臓血管外科	午前	麻田 (予約のみ)	麻田	麻田		顔	予約のみ	
	午後	麻田	麻田	麻田		顔		
			顔 (初診のみ)					
ペインクリニック内科 完全予約制	午前			佐藤			予約のみ	
産婦人科	午前	西井	西井	西井	中野 (受付10時まで)	中野	木曜日は初診・新患のみ	
脳神経外科	午前	岡村	三宅		三宅	鵜山	予約のみ	
		三宅	鵜山		岡村	藤田		
	午後	岡村	三宅		三宅	鵜山	予約のみ	
		三宅	鵜山		岡村			
形成外科 完全予約制	午前	藤井	藤井	藤井	藤井 (第4週)		予約のみ	
		安田	安田 再診(9～11時)	安田	安田		予約のみ	
		北野 再診(9～11時)	北野	北野	北野			
	午後	手術 学童外来(16時～)	レーザー外来	創傷外来	手術		第1～4水曜日はくつ外来併設 (予約のみ)	
		レーザー外来 学童外来(16時～)	手術	創傷外来			予約のみ	
		学童外来 (16時～)	レーザー外来	創傷外来				
小児科	午前	藤井	宅見	坂口	藤井	宅見	予約なし	
		松野下	竹中	山本	神戸大学	徳田		
	午後	発達初診(竹中) (第2・4週)	循環器外来 (徳田) (第1週)	腎・泌尿器外来 (松野下)	小児外科 (加古川/宅見) (第2・4週)	アレルギーⅡ (坂口)	要予約	
		内分泌 (宅見/山本)	心エコー(徳田) (第2・3・4・5週)		フォローⅠ (松野下) (第1・3・5週)			
		予防接種(徳田)	神経(藤井)	内分泌(宅見)	アレルギーⅠ(竹中)	発達行動(竹中)		
			発達(奥村)	心身外来(山辺)	フォローⅡ(坂口)	乳児検診(山本)		
眼科	午前	西崎	金井	松野	金井	西崎(第1・3週)	初診・再診	
		鉄本				鉄本 (第2・4・5週)		
			松野	西崎	鉄本	金井	再診のみ	
				鉄本(レーザー)	硝子体注射	松野(初・再診)	予約のみ(金曜日以外)	
	午後	硝子体注射	黄斑外来 (第3週)	角膜外来 (第4週)		角膜外来 (第4週)	予約のみ	
			検査・レーザー	検査・レーザー		斜視・弱視外来 (第1・3週)		
			検査・レーザー	検査・レーザー		コンタクト外来 (第2・4週)		
耳鼻咽喉・ 頭頸部外科	午前	池本		山本	池本		当面の間、予約のみ	
		山本		交代医師	交代医師			
	午後	交代医師		池本	山本		予約のみ	
		処置外来 免疫アレルギー 外来		処置外来	処置外来			
皮膚科	午前	神戸大学	熊野		神戸大学	神戸大学		
泌尿器科	午前	武市	田中		松本(初診のみ)	(田中)	初診	金曜日は 11月以降 休診
			松本		武市	(松本)	再診	
	午後	武市	田中		武市	(田中)	予約のみ	
					(松本)			
放射線診断科	午前		富田		宮本			
放射線治療科	午前	上菌				宮脇		
歯科口腔外科	午前	竹内	竹内	竹内	竹内	竹内		
		石田	石田	石田	石田	石田		
	午後	小手術外来	小手術外来		小手術外来	小手術外来	各担当医(予約のみ)	
		再診	再診		再診	再診		
精神科 もの忘れ外来 認知症看護外来 がん看護外来 感染対策相談外来 完全予約制	午前	感染対策相談 外来 高橋 (感染管理認定 看護師) (9:00～16:00)	もの忘れ外来 見市 (9:00～16:00)	認知症看護外来 高原 (認知症看護認定 看護師) (9:00～16:00)	がん看護外来 高山 (がん看護専門 看護師) (9:00～16:00)	精神科 東 (第1・2・3・4週)	予約のみ	
	午後							

新しい先生を紹介します



やま な じゅん こ

山名 順子 医師の紹介（10月1日付着任）

内科、老年内科 主任医長 として 山名医師が着任しました

〈卒業年次〉 平成 8 年

〈資格等〉 日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医 他



きた の とよ あき

北野 豊明 医師の紹介（10月1日付着任）

形成外科 医員 として北野医師が着任しました

〈卒業年次〉 平成 23 年

【退任のお知らせ】

～お世話になりました～

9月30日付けで、耳鼻咽喉・頭頸部外科 医員 寺 蘭 貴 浩 医師が退任しました。

同 日 付けで、形成外科 専攻医 平 井 優 樹 医師が退任しました。

～「耳鼻咽喉・頭頸部外科」外来診察の制限についてのお知らせ～

平成 28 年 10 月から医師の異動に伴い、当面外来診察の一部を次のとおり制限いたします。

○初診については、紹介状のある方のみの受診といたします。

○再診についても、診察予約のある方のみの受診といたします。

紹介状のない方、診察予約のない方につきましては、まずは地域の医療機関を受診していただき、必要に応じて、地域の医療機関からの紹介により、当院を受診してください。

皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

～「泌尿器科」金曜日の外来休診についてのお知らせ～

泌尿器科ではダヴィンチ（手術支援ロボット）手術の症例が大幅多くなり、手術待ちの患者さんが増加したため、これまで金曜日の外来診察を隔週で臨時休診とし、手術対応してきましたが、更なる手術日確保のため、平成 28 年 11 月から金曜日の外来診察を全日休診といたします。

皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

○外来診察は毎週月曜・火曜・木曜となります。（詳細は外来診察日程表でご確認ください）

～「内科」→「総合内科」に名称変更のお知らせ～

当院では内科系の疾患は、まず、「内科」で診察し、病状に応じて、専門診療科に引き継ぐようにしています。その総合的な内科領域の診察を行っている「内科」をより明確にするため、診療科名を「総合内科」に変更します。（変更日：平成 28 年 11 月）

【編集後記】

日増しに秋も深まり、朝夕は肌寒く感じる季節になりました。夜に遠くで聞こえる太鼓の音は、近づいた秋祭りを思い出させます。

北播磨総合医療センターも三歳を迎え、順調に成長してきました。専門性の高い先端医療センターや脳卒中ケアユニット等も充実し、北播磨の地域医療を支える病院になってきたと思います。

幸いにも、熊本地震や東北・北海道・九州の大雨のような大災害は未経験の医療センターですが、想定外の大災害にも地域に貢献できるようにスキルを磨き、毎日の医療業務に励みたいと思います。小人数ですが医師も入れ替わり、違った風が吹き込みますので、新たな気持ちで四年目以降も頑張っていきたいと思います。

私ごとですが、今年度末で定年を迎え、編集後記もこれが最後の執筆となります。ありがとうございました。

中央放射線室 主幹

三輪 幸男